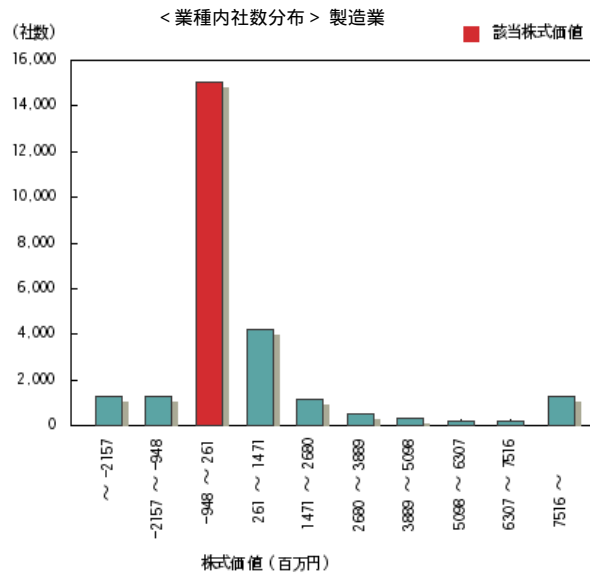
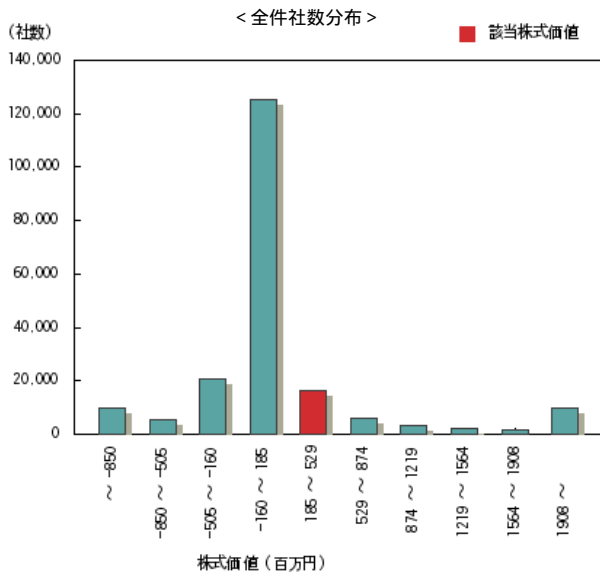
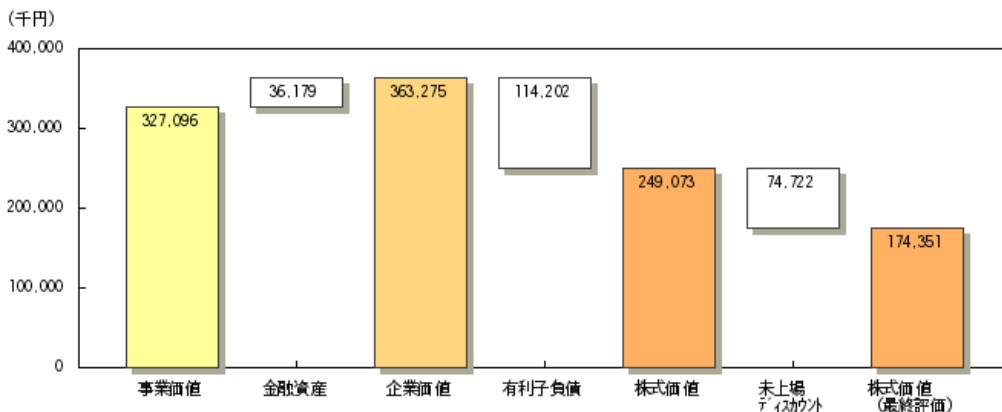


山形バリュープリント株式会社 (サンプル企業)	企業コード(001092103)	電話番号: -	株式未上場企業	主業: 印刷業 (謄写印刷業を除く) (27401)	従業員数: 21人
山形県鶴岡市青柳町		対象決算年月: 2009/12 (過去3期分)		設立: 1965年01月	資本金: 12,468(千円)

企業価値評価結果		
事業価値		327,096(千円)
金融資産	(+項目)	36,179(千円)
企業価値		363,275(千円)
有利子負債	(-項目)	114,202(千円)
株式価値		249,073(千円)
未上場ディスカウント (株式価値の30%)	(-項目)	74,722(千円)
株式価値 <最終評価>		174,351(千円)

事業価値 : 事業が生み出すキャッシュフローの現在価値合計
 金融資産 : 事業に使われていない有価証券、投資有価証券や一部の現預金
 企業価値 : 事業価値に金融資産を加算したもの (株式価値に有利子負債を加算したもの)
 有利子負債 : 借入金や社債等、株主以外の資金の出し手に還元される価値
 株式価値 : 企業価値から有利子負債を減額したもので株主に還元される価値



前提条件 当結果は以下を前提条件としております。 決算書3期使用のデフォルト設定による評価です。
 決算書複数期収録の場合のデフォルト設定は、売上高伸び率等の特定の指標が自社過去平均を基に将来推移すると仮定したものです。

1年目売上高伸び率(5年収束):5.02% (自社過去平均) 売上原価率:60.26% (自社過去平均) 売上高販管費率:34.63% (自社過去平均)
 1年目売上高運転資本増加率(5年収束):2.36% (自社過去平均) 1年目売上高設備投資率:0.57% (減価償却費方式)
 実効税率:40.00% 永續成長率(標準):0.00% 割引率(標準):7.15% 割引率詳細: 負債コスト:3.03% 株主資本コスト:11.69% 財務プレミアム:1.25%

山形バリュープリント株式会社 (サンプル企業)	企業コード(001092103)	電話番号: -	株式未上場企業	主業: 印刷業 (謄写印刷業を除く) (27401)	従業員数: 21人
山形県鶴岡市青柳町		対象決算年月: 2009/12 (過去3期分)		設立: 1965年01月	資本金: 12,468(千円)

事業価値	金融資産	企業価値	有利子負債	株式価値	株式価値 < 最終評価 >
327,096(千円)	36,179(千円)	363,275(千円)	114,202(千円)	249,073(千円)	174,351(千円)

< 企業価値分析 1 / 2 >

比較対象業種	印刷業 (謄写印刷業を除く)
--------	----------------

価値分析: 事業価値 ~ 企業価値 ~ 株主価値の算出過程の分析 分析で使用している株式価値は最終評価前の株式価値です。

項目名	目標	当企業の算出値	当企業算出値の業界内ランク	業界平均値
(1) 事業価値 / 過去最新期売上高 × 100(%)		41.74%	B	20.17%
(2) 金融資産 / 過去最新期売上高 × 100(%)		4.62%	E	18.22%
(3) 企業価値 / 過去最新期売上高 × 100(%)		46.36%	B	37.36%
(4) 有利子負債 / 過去最新期売上高 × 100(%)		14.57%	B	45.24%
(5) 株式価値 / 過去最新期売上高 × 100(%)		31.79%	B	-9.27%
(6) VER(株式価値 / 過去最新期当期利益)(倍)		7.62	D	19.43
(7) VBR(株式価値 / 過去最新期純資産)(倍)		4.41	A	1.62
(8) 企業価値 / 過去最新期EBITDA倍率(倍)		5.55	D	11.81
(9) 有利子負債 / 過去最新期EBITDA倍率(倍)		1.74	A	13.03

将来予測: 売上高 ~ フリーキャッシュフロー算出過程の分析

項目名	目標	当企業予測 1 年後		当企業予測 3 年後		当企業予測 5 年後		過去業界平均値
		比率(設定数値)	業界内ランク	比率(設定数値)	業界内ランク	比率(設定数値)	業界内ランク	
(10) 売上高伸び率(%)		5.02%	B	3.01%	B	1.00%	C	0.98%
(11) 売上高原価率(%)		60.26%	A	60.26%	A	60.26%	A	73.60%
(12) 売上高販管費率(%)		34.63%	E	34.63%	E	34.63%	E	24.59%
(13) 売上高営業利益率(%)		5.11%	A	5.11%	A	5.11%	A	1.81%
(14) 売上高経常利益率(%)		4.90%	A	4.92%	A	4.92%	A	1.91%
(15) 売上高運転資本増加率(%)		2.36%	D	1.42%	D	0.47%	C	0.01%
(16) 売上高設備投資率(%)		0.57%	B	0.54%	B	0.53%	B	3.70%
(17) 売上高FCF比率(%)		0.76%	E	1.70%	B	2.65%	A	1.68%

業界内ランクは、業界内上位から社数20%毎にA-Eの5段階のランク付けしており、同時にお天気マーク(A:快晴、B:晴れ、C:曇り時々晴れ、D:曇り、E:雨)で評価しています。

分析結果・チェックポイント

企業価値分析 1 は、将来のフリーキャッシュフロー予測とそれに基づいて算出された価値の分析です。まず価値分析の事業価値を見てください。当社の事業価値の業界内ランクは良好です。事業価値は将来のフリーキャッシュフローの合計で、事業がまずまずフリーキャッシュフローを生んでいます。企業価値、有利子負債、株式価値ですが、企業価値、有利子負債、株式価値すべて良好です。

次に事業価値の源泉であるフリーキャッシュフロー（売上高フリーキャッシュフロー比率）を見てみると、売上高に対し予測フリーキャッシュフローが少ない（マイナス値または業界内ランクが低い）年度があります。フリーキャッシュフローが少ないと事業価値が低下し、資金調達余力によっては資金上の注意も必要になります。

フリーキャッシュフローを向上させるため、その構成要素を見てください。予測販管費はコスト計画を見直しコスト削減を実施していき、フリーキャッシュフローを向上させるべき（業界内ランクが低い）年度があります。

売上高運転資本増加率のランクが低く、運転資本を改善させる、つまり売上債権や在庫を減少させてフリーキャッシュフローを向上させる必要がある年度があります。運転資本は、一般的には売上債権と棚卸資産の合計から仕入債務を控除したもので、通常の事業を運営していくために必要な資金です。運転資本の増加はキャッシュフロー不足の要因になることがあり、運転資本増加分を賄えるだけの資金が安定的に調達できるかチェックする必要があります。設備投資に関しては、設備投資が少なすぎると、製品やサービスの提供に支障をきたすことがあります。フリーキャッシュフローの毀損度合い、投資資金調達源泉との兼ね合い等、短期的、長期的視点に立った投資効果をチェックし設備投資計画を作る必要があります。

前提条件

当結果は以下を前提条件としております。 決算書3期使用のデフォルト設定による評価です。 決算書複数期収録の場合のデフォルト設定は、売上高伸び率等の特定の指標が「自社過去平均を基に将来推移すると仮定したものです。」

1年目売上高伸び率(5年収束):5.02%(自社過去平均) 売上高原価率:60.26%(自社過去平均) 売上高販管費率:34.63%(自社過去平均)
 1年目売上高運転資本増加率(5年収束):2.36%(自社過去平均) 1年目売上高設備投資率:0.57%(減価償却費方式)
 実効税率:40.00% 永続成長率(標準):0.00% 割引率(標準):7.15% 割引率詳細: 負債コスト:3.03% 株主資本コスト:11.69% 財務プレミアム:1.25%

山形バリュープリント株式会社 (サンプル企業)	企業コード(001092103)	電話番号: -	株式未上場企業	主業: 印刷業 (謄写印刷業を除く) (27401)	従業員数: 21人
山形県鶴岡市青柳町		対象決算年月: 2009/12 (過去3期分)		設立: 1965年01月	資本金: 12,468(千円)

事業価値	金融資産	企業価値	有利子負債	株式価値	株式価値 < 最終評価 >
327,096(千円)	36,179(千円)	363,275(千円)	114,202(千円)	249,073(千円)	174,351(千円)

< 企業価値分析 2 / 2 >

比較対象業種	印刷業 (謄写印刷業を除く)
--------	----------------

過去実績: 売上高-フリーキャッシュフロー算出過程の分析

項目名	目標	当企業 2007/12	当企業 2008/12	当企業 2009/12	当企業 過去平均値	当企業過去平均の 業界内ランク	過去 業界平均値
(10) 売上高伸び率(%)		-	4.54%	5.51%	5.02%	B	0.98%
(11) 売上原価率(%)		61.82%	58.84%	60.11%	60.26%	A	73.60%
(12) 売上販管費率(%)		37.50%	34.15%	32.23%	34.63%	E	24.59%
(13) 売上営業利益率(%)		0.67%	7.01%	7.65%	5.11%	A	1.81%
1) 売上高金利負担率(%)		0.46%	0.53%	0.64%	0.54%	B	1.08%
2) インタレストカバレッジレシオ(倍)		2.20	13.93	12.46	9.53	B	8.08
(14) 売上経常利益率(%)		0.60%	7.01%	7.43%	5.01%	A	1.91%
(15) 売上高運転資本増加額率(%)		-	-3.64%	8.36%	2.36%	C	0.01%
1) 売上債権回転期間(月)		0.78	1.23	3.06	1.69	A	2.61
2) 棚卸資産回転期間(月)		0.02	0.03	0.07	0.04	A	0.47
3) 買入債務回転期間(月)		0.53	0.71	0.80	0.68	E	1.68
(16) 売上高設備投資率(%)		-	3.32%	-	3.32%	D	3.70%
1) 固定資産回転期間(月)		1.21	1.56	1.41	1.39	A	5.95
(17) 売上高フリーキャッシュフロー比率(%)		-	5.06%	-3.11%	0.97%	C	1.68%

過去実績: その他分析

項目名	目標	当企業 2007/12	当企業 2008/12	当企業 2009/12	当企業 過去平均値	当企業過去平均の 業界内ランク	過去 業界平均値
(18) 自己資本比率(%)		7.26%	12.50%	21.62%	13.79%	D	23.69%
(19) 固定比率(%)		711.82%	405.47%	162.68%	426.65%	D	522.66%
(20) 固定長期適合比率(%)		77.41%	90.96%	55.45%	74.61%	C	86.13%
(21) デットエクイティレシオ(倍)		8.00	3.53	2.02	4.52	D	5.72
(22) 手元流動性比率(倍)		1.52	1.52	1.52	1.52	C	1.86

業界内ランクは、業界内上位から社数20%毎にA-Eの5段階のランク付けしており、同時にお天気マーク(A:快晴、B:晴れ、C:曇り時々晴れ、D:曇り、E:雨)で評価しています。

分析結果・チェックポイント

企業価値分析 2 は、過去の実績値に基づいた分析です。まず売上高-フリーキャッシュフロー算出過程の分析を見てみると、当社の売上高フリーキャッシュフロー比率の業界内ランクは無難な水準ですが、もう少し改善の余地があります。

フリーキャッシュフローの算出過程の指標を見てみると、売上販管費率の業界内ランクが良くありません。販管費の内訳を細かく分析、業務効率化を実施しコストを削減すべきです。

売上高運転資本増加額率の業界内ランクは一定の評価ですが、これ以上増加しないよう注意すべきです。運転資本は、一般的には売上債権と棚卸資産の合計から仕入債務を控除したもので、通常の事業を運営していくために必要な資金です。運転資本の増加は資金不足の要因になることがあり、運転資本増加分を賄えるだけの資金が安定的に調達できるかがポイントです。運転資本の構成要素では、売上債権回転期間が増加傾向にあります。未回収資金が増加していることであり注意が必要です。近年棚卸資産が売上高に対し増加傾向にあり、原因等のチェックが必要です。棚卸資産は本来早急に資金化すべき資産であり、過剰な増加は資金不足の要因となる場合があります。買入債務回転期間の業界内ランクが良くありません。買入債務の過剰な減少は、支払猶予期間が減少し、資金面がタイトになることもあり、注意が必要です。

設備投資がキャッシュフローを大きく毀損していないかチェックする必要があります。キャッシュフローを大きく毀損し、その期間が継続しているようであれば、投資過剰で資金不足に陥っている可能性があります。

前提条件

当結果は以下を前提条件としております。

決算書3期使用のデフォルト設定による評価です。

決算書複数期収録の場合のデフォルト設定は、売上高伸び率等の特定の指標が自社過去平均を基に将来推移すると仮定したものです。

1年目売上高伸び率(5年収束):5.02%(自社過去平均) 売上原価率:60.26%(自社過去平均) 売上高販管費率:34.63%(自社過去平均)
 1年目売上高運転資本増加率(5年収束):2.36%(自社過去平均) 1年目売上高設備投資率:0.57%(減価償却費方式)
 実効税率:40.00% 永續成長率(標準):0.00% 割引率(標準):7.15% 割引率詳細: 負債コスト:3.03% 株主資本コスト:11.69% 財務プレミアム:1.25%

山形パルビュープリント株式会社 (サンプル企業)	企業コード(001092103)	電話番号: -	株式未上場企業	主業: 印刷業 (謄写印刷業を除く) (27401)	従業員数: 21人
山形県鶴岡市青柳町	対象決算年月: 2009/12 (過去3期分)			設立: 1965年01月	資本金: 12,468(千円)

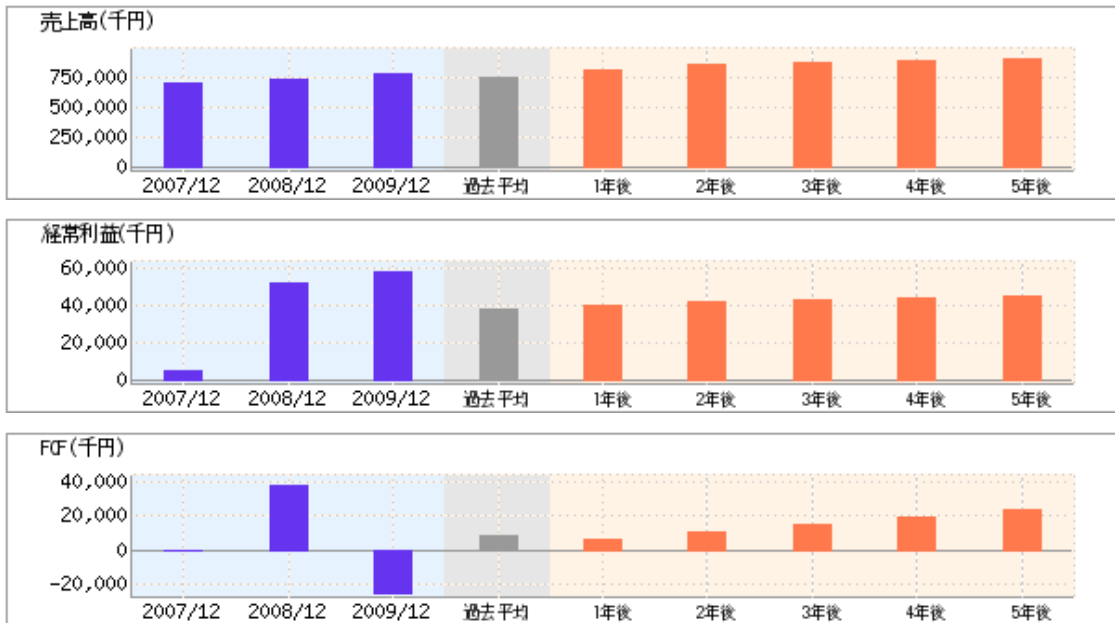
事業価値	金融資産	企業価値	有利子負債	株式価値	株式価値 < 最終評価 >
327,096(千円)	36,179(千円)	363,275(千円)	114,202(千円)	249,073(千円)	174,351(千円)

< 事業価値の計算過程 > (決算書3期利用)

(単位:千円)

項目名	2007/12	2008/12	2009/12	過去平均	1年後	2年後	3年後	4年後	5年後	永続価値
<1> 売上高	710,433	742,672	783,575	745,560	822,932	855,998	881,795	899,511	908,547	—
<2> 売上原価	439,213	436,987	471,038	449,079	495,890	515,816	531,361	542,036	547,481	—
<3> 売上総利益 <1> - <2>	271,220	305,685	312,537	296,481	327,041	340,182	350,434	357,475	361,066	—
<4> 販売費および一般管理費	266,429	253,620	252,584	257,544	284,972	296,423	305,356	311,491	314,620	—
<5> 営業利益 <3> - <4>	4,790	52,063	59,952	38,935	42,069	43,759	45,078	45,984	46,446	—
<6> 営業外収益	2,748	3,934	3,294	3,325	3,294	3,294	3,294	3,294	3,294	—
<7> 営業外費用	3,294	3,915	5,020	4,076	5,020	5,020	5,020	5,020	5,020	—
<8> 経常利益 <5> + <6> - <7>	4,245	52,082	58,226	38,184	40,343	42,033	43,352	44,258	44,720	—
<9> 支払利息	3,294	3,915	5,008	4,072	5,008	5,008	5,008	5,008	5,008	—
<10> 受取利息	2,468	2,469	2,469	2,469	2,469	2,469	2,469	2,469	2,469	—
<11> EBIT <8> + <9> - <10>	5,071	53,528	60,765	39,788	42,882	44,572	45,891	46,797	47,259	—
<12> 減価償却費	2,637	3,060	4,681	3,459	4,721	4,753	4,778	4,794	4,802	—
<13> EBITDA <11> + <12>	7,708	56,588	65,446	43,247	47,603	49,326	50,669	51,591	52,061	—
<14> 税金 <11> x 40%	2,028	21,411	24,306	15,915	17,153	17,829	18,356	18,719	18,904	—
<15> NOPAT <13> - <14>	5,680	35,177	41,140	27,332	30,450	31,497	32,312	32,872	33,157	—
<16> 運転資本増加額		-27,026	65,542	19,258	19,443	16,180	12,501	8,501	4,293	—
<17> 設備投資		24,627	—	13,632	4,721	4,753	4,778	4,794	4,802	—
<18> フリーキャッシュフロー(FCF) <15> - <16> - <17>		37,576	-24,402	8,414	6,286	10,564	15,034	19,577	24,062	—
<19> FCFディスカウント(%)					0.20	0.43	0.69	0.97	1.27	—
<20> 期待フリーキャッシュフロー <18> x (100% - <19>)					6,273	10,518	14,931	19,388	23,756	379,132
<21> 終値係数(割引率7.15%)					1.0715	1.1481	1.2302	1.3182	1.4125	1.4125
<22> 正味現在価値 <20> ÷ <21>					5,854	9,161	12,136	14,708	16,819	268,418

<16>運転資本増加額の詳細は、要約貸借対照表のページで と表示している項目の増減で分かるようになっています。



前提条件

当結果は以下を前提条件としております。

決算書3期使用のデフォルト設定による評価です。

決算書複数期収録の場合のデフォルト設定は、売上高伸び率等の特定の指標が自社過去平均を基に将来推移すると仮定したものです。

1年目売上高伸び率(5年収束):5.02%(自社過去平均) 売上原価率:60.26%(自社過去平均) 売上高販管費率:34.63%(自社過去平均)
 1年目売上高運転資本増加率(5年収束):2.36%(自社過去平均) 1年目売上高設備投資率:0.57%(減価償却費方式)
 実効税率:40.00% 永続成長率(標準):0.00% 割引率(標準):7.15% 割引率詳細: 負債コスト:3.03% 株主資本コスト:11.69% 財務プレミアム:1.25%

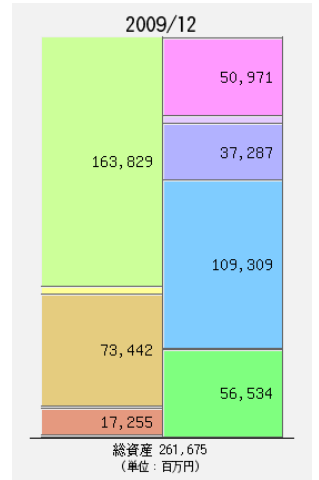
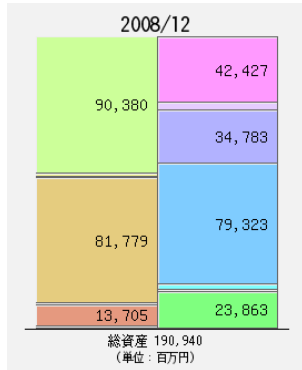
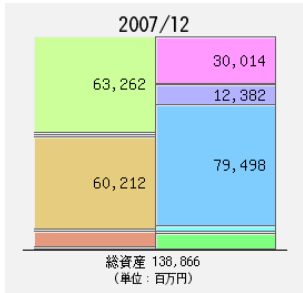
山形バリュープリント株式会社 (サンプル企業)	企業コード(001092103)	電話番号: -	株式未上場企業	主業: 印刷業 (贈写印刷業を除く) (27401)	従業員数: 21人
山形県鶴岡市青柳町		対象決算年月: 2009/12 (過去3期分)		設立: 1965年01月	資本金: 12,468(千円)

< 要約貸借対照表 >

単位: (千円)

資産の部				負債・純資産(資本)の部			
科目	2007/12	2008/12	2009/12	科目	2007/12	2008/12	2009/12
流動資産	65,824	92,949	168,261	流動負債	44,864	83,337	94,385
当座資産	63,262	90,380	163,829	支払手形()	1,234	1,234	1,234
現預金()	17,247	40,103	38,683	買掛金()	30,014	42,427	50,971
受取手形()	7,803	15,887	64,731	短期借入金	1,234	4,893	4,893
売掛金()	38,212	34,390	60,415	その他(未払金・短期引当金等)()	12,382	34,783	37,287
其他	0	0	0				
棚卸資産()	1,234	1,800	4,646	固定負債	82,680	82,506	109,309
其他流動資産()	1,328	769	-214	社債・長期借入金	79,498	79,323	109,309
				其他	3,182	3,183	0
固定資産	71,808	96,757	91,968				
有形固定資産	60,212	81,779	73,442	引当金	1,234	1,234	1,234
建物	29,559	27,941	26,323				
設備等	17,419	40,604	33,885	負債計	128,779	167,077	204,930
土地	13,234	13,234	13,234				
無形固定資産	1,269	1,269	1,269	資本金・資本剰余金	12,468	12,468	12,468
投資その他の資産	10,323	13,705	17,255	利益剰余金・其他	-2,380	11,395	44,066
				(うち当期純利益)	-5,749	13,774	32,671
繰延資産	1,234	1,234	1,234				
				純資産(資本)計	10,088	23,863	56,534
資産合計	138,867	190,940	261,464	負債・純資産(資本)合計	138,867	190,940	261,464

予測P / Lページでの過去の「運転資本増加額」は、以下の計算式による「運転資本」の前期からの増減で算出されます。
 運転資本(営業活動で必要とするキャッシュ) = 営業用流動資産(の10% + の合計) - 営業用流動負債(の合計)
 ただし、デリバティブに関わる資産・負債および新株予約権は() () に含まれますが、運転資本を計算する際には対象外となります。



- 当座資産
- 棚卸資産
- 其他流動資産
- 有形固定資産
- 無形固定資産
- 投資その他の資産
- 繰延資産
- 支払手形
- 買掛金
- 短期借入金
- 其他流動負債
- 社債・長期借入金
- 其他固定負債
- 引当金
- 純資産(資本)計

山形バリュープリント株式会社 (サンプル企業)	企業コード(001092103)	電話番号: -	株式未上場企業	主業: 印刷業 (謄写印刷業を除く) (27401)	従業員数: 21人
山形県鶴岡市青柳町		対象決算年月: 2009/12 (過去3期分)		設立: 1965年01月	資本金: 12,468(千円)

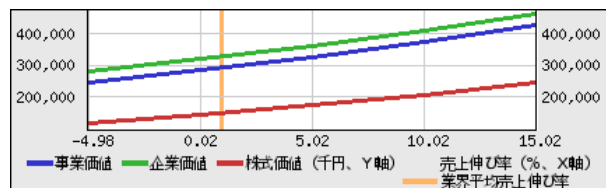
事業価値	金融資産	企業価値	有利子負債	株式価値	株式価値 <最終評価>
327,096(千円)	36,179(千円)	363,275(千円)	114,202(千円)	249,073(千円)	174,351(千円)

< 影響度分析 >

売上伸び率を上下10%変化させた場合の評価結果

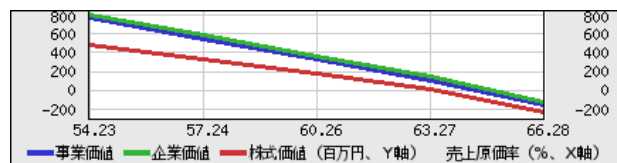
	売上伸び率(%)	事業価値(千円)	企業価値(千円)	株式価値(千円)
GOOD	15.02	426,819	462,998	244,157
	10.02	374,389	410,568	207,457
評価に採用した数値	5.02	327,096	363,275	174,351
	0.02	284,572	320,751	144,584
BAD	-4.98	246,468	282,647	117,912

変化させるレンジは、前提条件の設定で変更できます。



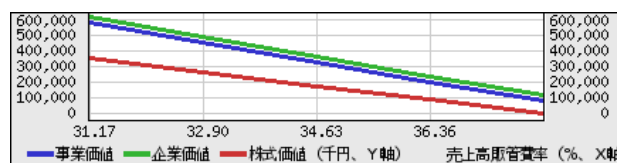
売上原価を上下10%変化させた場合の評価結果(%, 千円)

	売上原価増減(%)	売上原価率	事業価値	企業価値	株式価値
GOOD	-10.00	54.23	765,731	801,910	481,396
	-5.00	57.25	546,413	582,592	327,873
評価に採用した数値	0.00	60.26	327,096	363,275	174,351
	5.00	63.27	107,738	143,917	20,801
BAD	10.00	66.28	-151,957	-115,778	-229,980



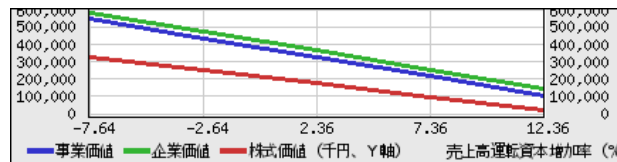
販管費を上下10%変化させた場合の評価結果(%, 千円)

	販管費増減(%)	販管費率	事業価値	企業価値	株式価値
GOOD	-10.00	31.17	579,165	615,344	350,800
	-5.00	32.90	453,131	489,310	262,575
評価に採用した数値	0.00	34.63	327,096	363,275	174,351
	5.00	36.36	201,057	237,236	86,124
BAD	10.00	38.09	74,960	111,139	-3,063



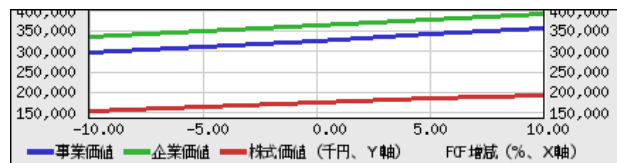
売上高運転資本増加率を上下10%変化させた場合の評価結果

	売上高運転資本増加率(%)	事業価値(千円)	企業価値(千円)	株式価値(千円)
GOOD	-7.64	545,567	581,746	327,281
	-2.64	436,332	472,511	250,816
評価に採用した数値	2.36	327,096	363,275	174,351
	7.36	217,640	253,819	97,732
BAD	12.36	107,928	144,107	20,933



FCFを上下10%変化させた場合の評価結果

	FCF増減(%)	事業価値(千円)	企業価値(千円)	株式価値(千円)
GOOD	10.00	355,742	391,921	194,403
	5.00	341,419	377,598	184,377
評価に採用した数値	0.00	327,096	363,275	174,351
	-5.00	312,773	348,952	164,325
BAD	-10.00	298,450	334,629	154,299



前提条件

当結果は以下を前提条件としております。

決算書3期使用のデフォルト設定による評価です。

決算書複数期収録の場合のデフォルト設定は、売上高伸び率等の特定の指標が自社過去平均を基に将来推移すると仮定したものです。

1年目売上高伸び率(5年収束):5.02%(自社過去平均) 売上原価率:60.26%(自社過去平均) 売上高販管費率:34.63%(自社過去平均)
 1年目売上高運転資本増加率(5年収束):2.36%(自社過去平均) 1年目売上高設備投資率:0.57% (減価償却費方式)
 実効税率:40.00% 永続成長率(標準):0.00% 割引率(標準):7.15% 割引率詳細: 負債コスト:3.03% 株主資本コスト:11.69% 財務プレミアム:1.25%